

平成27年（2015年度） 第3回 学校協議会【議事録】

平成27年2月24日
10:00～12:00

はじめに

校長・准校長あいさつ

① 会長挨拶

今年一年やってきたことの評価そして来年度の計画について、前向きなご意見、忌憚のないご意見を出していただきたい。

② 報告及び協議

※●は協議会委員からの意見、提言等 Qは質問 Aは学校の回答

<協議会意見書箱について>

- ・第2回協議会から今回までの期間に投書は無かった。

<学校評価について>

[首席]

- ・前回（第2回協議会）に出した集約も載せている。
- ・教職員の回収率は92%まで上がっている。それに伴い、数値も少し変わっている。
- ・勤務年数について、若い教員が増えているが、そういった4～6年目の教員がどれだけ活躍していくかが重要ではないかと思う。
- ・「改善提案」として教職員にアンケートを実施した。

- 保護者と教員の比較で差のある部分（「子どもの障がいについての理解」）は、普段から感じることもある。前回も話題になったが、特定の生徒への特別な対応（石鹼・アルコール類の撤去）があったが、現在もそのままなのか、年度初めで環境に慣れていなかったからで、慣れてきて対応が変わったりしていないのか。また、その特別対応に伴って他の生徒への指導が適格にできていない部分がある。

[高等部主事]

- ・当該生徒は、状況は同じで、依然として特別対応の必要がある。

[教頭]

- ・現在も誤飲の危険性があり、継続した特別対応が必要である。
- ・他の生徒への指導については改善していきたい。

- 特別対応以外の生徒への授業についての工夫をしてほしい。
支援学校勤務が初めての教員にも指導について経験年数の長い教員からフォローをしてほしい。

- 教員の連携不足とあるが、支援学校はチームティーチングが基本で、情報共有は欠かせないこと。若手の教員に対して伝え切れていない場合もあるかもしれない、そして保護者から見気になることもあるかもしれないが、先生方は情報共有しながら指導を進めていると思う。経験年数の長い教員がフォローをしながら指導を進めていただいている。先生方も努力をされているのは間違いないので、温かい目で見てください応援いただきたい。

[指導教諭]

- ・校内の校務再編の中で、研究・研修や全校の支援に関しての体制も整備していくことになっている。
- ・ご指摘の点（授業の改善）について、ご意見を受けて来年度に向けて進めていきたい。

[小学部主事]

- ・研修については改善を進めている。若い教員とも意見交換をしている。
- 研修・授業改善について、進めていただいているが、全てがすぐにはうまくいかないと思うが、それぞれの授業や児童生徒について支援の手立て等を考えながら進められていると思う。具体的に課題を挙げながら検討していくとよいと思う。
- ヒヤリハット報告について、定義することは大事だと思う。どんな細かなことでもいいと聞いていたが、なかなか報告が上がってこない。
事故を防ぐには、前ぶれを察知する事が大事だと思う。そのような細かなことを共有してほしい。ヒヤリハット報告をすることは、ダメなことではなく、小さな変化に気づき、事故を未然に防ぐための良い事だと思ってしてほしい。
- ヒヤリハット報告は、出すことができる雰囲気的大事。本校にはその雰囲気はあると思う。教員の意識をもう一步前へ進められるようにしてほしい。
- ヒヤリハット報告は事故予防の観点なので、報告しやすいようにしないといけない。年度が変われば教員の入れ替わりもあるので、その意義やポイントについては毎年、年度当初に説明することが必要だと思う。

<授業アンケートについて>

[教頭]

- ・概要の説明
- ・保護者のアンケートの記入が少なく、回収率が低いことについては、アンケートに協力してもらえるよう丁寧な説明をしていくなど改善の必要があると考える。
- ・来年度は、2学期の参観週間を各学部2週間に延長し、参観の機会を増やすなどして回収数を増やしたい。
- ・4月よりインクルーシブ教育も大きな課題となってくる。
- ・教職員にも同じ形式で職員会議にて報告する予定。
- 高等部の提出率が低い。アンケートを提出しにくいのではないか。
自由記述などを書きたいが、現状では書きにくい。
保護者がアンケートを書きやすくなる工夫をお願いしたい。
- 参観期間を延長することは良いと思う。
クラスや学部単位でも学校アンケートについて説明するなど、丁寧な説明をして、提出しやすい雰囲気づくりが必要。

Q. 授業アンケートの結果は、教員には返らないのか。

A. [学校長]

- ・授業アンケートは、書いた者・書かれた者の両方の個人情報であるので、校長としては、それが明らかにならないように、取り扱いには十分注意した上で教員には返していく。
 - ・支援学校はチームティーチングが基本であり、チームとしての評価と個人の評価をどうするのか今後も改善を図りたい。
 - ・授業アンケートについての保護者への説明についてはこれからも工夫をしていく。
- 自由記述は、肯定的な意見も具体的に書かれている。その他の意見も具体的で、それを教員に知らせていくことは大事で、それが授業改善につながっていく。
- 本来は教員自身の授業改善のためのものである。
教員が自分のためのものとして受け止めて、改善に取り組んでいくことが大事。

<平成27年度学校経営計画評価（案）について>

[学校長]

- ・学校教育自己診断の分析結果と学校協議会でいただいたご意見も記入している。
- ・個人のiPad購入や活用、新しい種目（ハンドサッカー・ボッチャ・ラクロス等）への取り組み、児童生徒の良いところを発信していくという意味でコンクールや検定の参加、スノーズレンの取り組み、行事の一貫した積み上げ、高等部のサービス系の実習については概ね良い評価としている。
- ・教務のデータベース化については専門的課題が高い部分があるので方向転換、会議のスリム化・業務の見える化については引き続き取り組んでいく。

[准校長]

- ・異文化交流についての項目、今年度は開催がなかったので不参加となっている。
- 職業訓練校でも、組織としての課題や評価を話し合う機会を設けている。
訓練校でも、行なっていることの評価や改善をしていかないと、働くことへの意識づけなど、前に進めていくことが難しい。週1回や月1回話し合うことで共通認識を図っている。
- 喫茶サービスの設備について、高等部の生徒がどれくらい関わっているのか。
接客サービスの体験など、学校で体験できることは貴重なこと。
学校として、一人でも多くの生徒が体験できるよう努力して行って、活用を続けて行ってほしい。
- 小中高一貫したキャリア教育ということに取り組まれており、それは非常に大事なこと。
高等部卒業後の就労に関する事など、役立つ事があればサポートしていきたい。
- （授業アンケートについて）小中学部の保護者と高等部の保護者とは、考え方が違っている。小学部からの保護者は、要望があれば直接教員に伝えるし、その方が早く改善されると思っている。高等部から入学された場合でも、先生方と早く直接コミュニケーションを取ることができる体制をつくると、もっと連携がうまくいくのではないかと。

- 会議のスリム化について、教員の達成感を大事にし、引き続き取り組んで改善をお願いしたい。

<平成28年度学校経営計画（案）について>

[学校長]

- ・中期目標について、今年度達成できているものについては引き続き取り組むが、それについては記入せず、今年度よりもスリムにした。
- ・ヒヤリハット報告についての項目は継続だが重要なので残している。
- ・学校教育自己診断の分析結果にあった6つの項目については反映させている。
- ・ヒヤリハットについては、教員に書き慣れてもらうなど工夫していく。
- ・ロコモーターの導入を目ざしている。
- ・ハンドサッカーやボッチャなど新競技に引き続き取り組み、卒業後も楽しむことができるものが見つけられたらいいのではないかと思う。
- ・指導要領もまもなく改訂され、支援教育の分野にも多くの変化がある。具体的に示されていくことも多く、支援学校では基礎的環境整備と合理的配慮は一つのものとして十分やってきた。今後は何のために何をするのか、それをどう評価するかなどを言語化していき、合意形成して取り組むなど今まで以上に大切にしていきたい。
- ・学校として、「社会に開かれた教育課程」を意識して外部に出て経験する場を増やしていく。

[准校長]

- ・中期目標にある、高等部の教育課程について
生活課程の教育について、生徒自身が主体的に動くことができる授業づくりを目ざして、専門家に来ていただくなど、授業改善を行なっていく。

- 新しいことも進めていかないといけないことが多い。
会議や業務のスリム化を図っても、新しいことに取り組むことで多忙になる。
教員のメンタルヘルスなども考えながら、大変だと思うがよろしくお願ひしたい。
- 開かれた教育も大事だが、基本は学校内の教育・経験を大事にしてほしい。
- 管理職が教育方針を出して、教職員と一致して教育活動を進めていく。その中で学校の個性が出てくる。教員は自分が何をすべきか考えてやってほしい。
合理的配慮は支援学校では新しいことではない。それを教員がしっかり理解して、落ち着いて教育を進めてほしい。そして学校はこういう教育をやっていると表明することで、地域との信頼関係を築いていってもらいたい。

③ 諸連絡

<事務局より>

- ・今回で本年度の学校協議会は終了。
- ・ありがとうございました。